

平成 29 年度  
バリアフリー・ユニバーサルデザイン  
推進功労者表彰  
受賞事例集



平成29年度

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施いたしました。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子供連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。

関係府省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった29件の事例のうち、今年度は、内閣総理大臣表彰2件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞3件及び奨励賞4件が選考され、表彰式において、松山内閣府特命担当大臣から受賞団体代表者に対し、表彰状が授与されました。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集を活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「国民一人一人が自立しつつ互いに支え合う共生社会の実現」を目指した心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



平成30年2月  
内閣府

平成29年度（2017年度）

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式

開催日：平成29年（2017年）12月21日（木）

開催場所：中央合同庁舎第8号館講堂

内閣府  
特命担当大臣表彰  
奨励賞

厚生労働省推薦

## 篠原電機株式会社

(大阪府大阪市)

### 【概要】

- 43年前には大阪府警から交通信号用端子箱の承認を得て、その後盲人用音響ポール(スピーカーと押しボタン)を開発し、府内に2,000箇所設置。その中、弱視者の方から歩行者信号灯器が探しづらい、見えづらいとの声があり、盲人用音響ポールに歩行者用信号の補助としてLED信号灯を付加することを考案し実用化。同社は、福祉機器(横断歩行支援用補助装置)の開発のためのプロジェクトチームを結成し、多くの方が使いやすく、かつ街に馴染むように、同製品の改善・改良を行っている。

### 【特に顕著な功績・功労】

- 歩行者信号機は渡った側の高い位置にあるものと概念があったが、弱視者当事者からのヒヤリングを基に、横断歩行をする手前に設置されている音響ポールの利用を考え、歩行者信号の補助としてLED信号灯を付加するLED付音響装置を開発したことは先駆的である。



- LED付音響装置は現在、大阪府に7箇所、和歌山県に1箇所、愛知県に1箇所設置されている。大阪府警の事故発生状況調査では設置前3年間で14件発生していた自転車、歩行者事故が、設置後3年間で2件に減少したとの結果を得ている。

- 高い位置にある歩行者信号が見づらい高齢者や小さい子供にとっても、横断歩道の手前で低い位置に信号灯ある同装置は、目線に入りやすく安全・安心につながっている。平成27年には、「第9回キッズデザイン賞」も受賞している。



- また、同装置の安全性・有効性を検証するために学識研究者からなる調査研究委員会を立ち上げ、アンケート調査を行うなどの検証等を行うとともに、今後、必要とされている交差点に1箇所でも多く設置を進めるため、企業努力としてコスト削減を念頭に第二世代の開発を行っている。
- 利益に繋がり難いこの取組を長年にわたり地道に続けており、さらに、時代に沿ったスマートフォンを活用した取組も検討していることなど、今後の同装置の発展も期待できる。また、視覚障害者だけでなく、高齢者や幼児などのいわゆる交通弱者にとっても有用であると認められることから、バリアフリー社会の構築にも貢献している。